

なばり市議会だより

no. 57

平成22年7月
発行 ■ 名張市議会

● 議会広報特別委員会 ● 三重県名張市鴻之台 1-1 ● 電話 63-7834~5 FAX 64-8870 ● gikai@city.nabari.mie.jp

平成22年6月定例会

一般会計補正予算11億1970万円を可決

平成22年度一般会計予算総額
244億6270万円

6月定例会(第339回)は、
6月10日開会、28日開会の19日間

の日程で行われた。
提出された議案は、平成22年度
一般会計など補正予算3件、「名
張市議員の修学部分休業」など条
例の制定2件、「名張市議員の育



名張市消防庁舎および防災センター竣工式

児休業」など条例の一部改正7件、
専決処分報告2件、名張小学校・
名張中学校校舎耐震補強および改
修工事など請負契約締結4件、「名
張市議会議員の議員報酬の特例に
関する条例の廃止」と「近畿大学
工業高等専門学校の名張市への移
転についての賛否を問う住民投票
の実施について」の議員提出議案
2件である。

議員提出議案のうち、「住民投
票の実施について」は、3人の議
員から提出され、近畿大学工業高
等専門学校の名張市への移転につ
いて住民投票の実施を求めようと
するものである。

請願の審査は3件で、「小規模
特認校制度の存続」「皇學館大学
跡地の近大高専への無償譲渡に反
対」「備蓄米買い入れと米価の回
復・安定を求める」である。

「小規模特認校制度の存続」の
主な請願趣旨は、「小規模特認校
制度」を今後も継続することや、
実施計画の策定にあたっては、児
童・保護者・地域住民の意向に十
分配慮することである。

「皇學館大学跡地の近大高専へ
の無償譲渡に反対」の主な請願趣
旨は、近大高専の名張市への移転
を受け入れないこと、皇學館大学
名張学舎の土地・建物・機器備品
などを無償譲渡しないことなど
である。

「備蓄米買い入れと米価の回復・
安定を求める」主な請願趣旨は、
2008年度産を含む30万トン相
当の備蓄米を適正な価格で買い入
れることである。

本会議および常任委員会で慎重
に審議した結果、議員提出議案1

件(住民投票の実施)は、議会で
誘致決定した案件であるなどと
して否決。請願2件(近大高専への
無償譲渡反対)(備蓄米買い入れ
と米価の回復・安定を求める)は
不採択。その他の議案は原案とお
り可決した。

補正予算

平成22年度の当初予算は、4
月に市長選挙が行われたことよ
り、義務的経費や継続事業を主と
する骨格予算であったため、今回
の補正は、政策的経費や新規経費
などの追加である。

歳出の主なもの、大学跡地有
効活用事業として、近畿大学工業
高等専門学校の移転支援に係る施
設整備補助金1億8000万円。
社会福祉施設整備事業として、地
域介護・福祉空間整備等交付金
2億7125万円。コンビニエンス
ストアでの市税収納に係るシス
テム改修等経費635万円。

歳入では、皇學館大学名張学
舎撤退に伴う覚書による原状回
復費用の受入れ2億3149万
円。地方交付税6670万円。市
債3億250万円の追加など
である。

特別会計の農業集落排水事業会
計では、赤目南部地区の施設整備
費の追加1200万円の増額。
国民健康保険特別会計では、コ
ンビニエンスストアでの保険税収
納に係るシステム改修費など。
補正予算質疑は、9人が行い、
熱心な議論を展開した。

一般質問

質問は議員から提
出された原文を尊
重し、編集して掲
載しています。

〔心風会 永岡 植
規模・配置の適正化

答弁 適切な時期に判断
小中学校の統廃合は、地
域・保護者・子どもたち
にとり、大変デリケートな問題
である。教育委員会だけに任せる
のではなく、最初から市長が先頭
に立つて進めるべきである。検討
の中に小規模特認校も含まれてい
るが、名張市が4年間の試行期間
を経て、自信をもって本格実施し
た制度であり、十分な配慮が必要
である。この制度は教育に欠かせ
ない何かを見いだす制度となる。

答弁 教育委員会では一定の整理
をしていただいた段階で、
適切な時期に市長として決断し、
地域・保護者に説明する。小規模
特認校については、十分に、地域・
保護者の意見を聞き判断したい。

答弁 推進中だが課題多い
自然環境対策

現在所管の産業部のみで
進まない。新たに、自然環境部を
配置し、将来に向けた対策を構築
すべきであり、今取り組まない
大変な結果となってしまう。特に、
動物による被害は、大変深刻な問
題となってきた。市長はまだ
まだ認識不足である。

A 名張市は自然に囲まれた山紫水明のまちであり、これを守っていかなければならないことは、十分承知している。市民意識を高め対策を講じていきたい。獣害対策については、広域的に進めないといけないと考えている。本年、市内においても、多くのモデル事業を地域の皆さんの協力のもと実施する。



獣害対策

「公明党 石井 政 救急医療体制」

Q 平成20年4月から伊賀の3病院で救急輪番制が実施されている。7月からは、医師の集約化・機能分担をするということだが具体案はできたのか。伊賀市長の輪番制を継続する旨の記者発表は遺憾だ。県で23年度中にドクターヘリの配備が予定されている。消防本部との連携・着陸時の安全対策を問う。

A 7月以降の二次救急医療体制について伊賀・名張の両市と三重県、三重大学と協議を重ねてきた。今、最終段階だ。二次救急医療は何としても守っていく。ドクターヘリの着陸時は、

救急隊のほか消防が出動して誘導や現場整理が必要かどうか検討する。

「マイ保育園登録事業」

Q 子どもを産み育てる喜びよりも、育児不安や子育ての負担感が大きいのが問題だ。公明党三重県本部で「より良い保育環境の充実を求めるため」のアンケート調査を行った。育児相談事業のニーズが高い。保育士のスキルアップを求めている。施設保育と在宅保育の格差がある。石川県が取り組むマイ保育園登録事業は、一時保育や気軽に相談ができ、保育の充実にも有効だ。市でも取り組むべきだ。

A アンケート調査結果を拝見した。質問項目が多岐にわたり、分析、提言も参考になる。市としても保育所民営化を推進する中で、保育士の養成やコーディネートできる人材を育成する。マイ保育園登録事業は今後検討する。

「自由クラブ」田合 豪

Q 市長の政治信条を問う。4月4日投票の市長選挙で、市長は2万975票、新人は1万7468票と約3500票差であった。感想はどうか。

A 県会議員当選以来変わらぬ「清潔・誠実・全力」だ。これだけの改革をすすめているのだから、当然、批判票はある。

無償譲渡の議案化は

「市報」近大高専の誘致が掲載されていたが、市民の財産27億円を無償譲渡する議案がない。無償譲渡を断ってしまった。将来近大高専の経営が苦しくなり、融資の担保にしたり、売却される心配があるがどうか。

A 近大高専への無償譲渡に会合の協議が必要となっているが、条例で「相手方が公共の団体の場合は、無償譲渡できる」となっており、学校法人は公共の団体である。撤退や目的外使用の場合は、返還することを協定書に明記する。協定書は定例会終了後に、議会に提出する。

「民主クラブ」川合 滋

Q 政権が変わって政府への陳情・要望先が変わったはずだ。地方自治体の財源は大半が国・県に頼っている。どんな事業を計画しても補助金次第だ。しかし、政権交代後も名張市の陳情依頼行動は旧態依然のままではないのか。民主党ルールは県連地域戦略局で受け付けているが、名張市の要望・陳情はゼロだ。補助金・交付金はいらぬのか。

A 民主党のルールは承知している。特別交付税や、学校耐震事業など、地元の大臣にご尽力いただいた。今後は民主党のルールに従い、民主党県連地域戦略局にも、要望・陳情行動を行い、交付金・事業補助金などの確

保に努める。

「希望クラブ」高田 稔嗣

Q 下水道マスタープランにより、市内の家庭排水浄化は他市に比べ下水道普及率が高い。今後、住宅団地の公共移管を順次進める計画と認識している。しかしこのままだと、南部処理区は20〜30年後になってしまふ。住宅団地の公共移管は必要だが、管路の接続をせず、それぞれ単独稼働できないか。そのことにより、中央浄化センターのみで処理でき、事業費も安価になり全域浄化も早くなる。下水道と農業集落排水の料金統一も早すぎる。下水道と農業集落排水のみの料金統一が先決だ。

A 下水道マスタープランは、長期スパンだ。社会情勢を勘案しながら見直しを図っていく。

「希望クラブ」高田 稔嗣

Q 千平方メートル以下の小規模住宅開発地内の道路、水路などが非常に傷んでいる。現状は公道道路と位置づけ市道認定せず放置されているが、行政として建築確認申請を受理した結果責任もあるのではないのか。行政管理ができる環境づくりに市の顧問弁護士とも協議しながら努力したい。

A 法令上で道路として認定されているが、土地所有が個人名義のため個人管理となる。しかし、一般の公共に供するものであり公共性が高く、名張市に土地が帰属可能で、名張市道としての要件に合致する道路については、関係者と協議し検討する。



中央浄化センター増設工事

受け入れに協力いただけるよう、重度の場合は三重医大などへの三次医療対応をしている。

「公明党 吉住 美智子」

Q 子宮頸がんは、HPV（ヒトパピローマウイルス）感染が主な原因。約8割の女性が感染するが、検診と予防ワクチンでほぼ100%防げる。ワクチン接種は任意で費用は約5万円。子宮頸がんの確実な予防を図るため、ワクチン接種の効果が高いとされる12歳女子への接種と公費助成を検討すべきだ。

A 予防ワクチンの効果が認められ日本でも承認された。独自に助成している自治体もある。厚生労働省では、予防接種法の制度の抜本的見直しに向けた議論が開始されている。国の動向に注意しつつ、予防ワクチン接種への助成制度について検討する。乳がん・子宮頸がん検診受診率の向上にも努める。

「希望クラブ」高田 稔嗣

Q 救急車が患者を収容後、一定時間収容先が決まらない場合は拠点病院に搬送し、看護師との共同により患者介護すべきである。ドクターヘリ導入までの間、防災ヘリによる搬送が出来るよう、行政間協議が必要だ。

A 現地で搬送先確保に時間を要する救急患者をいっただん市立病院に搬送することは、現在の二次救急医療体制を守ることも非常に困難。医師の負担軽減のためにも出来ない。状況に応じ軽傷の場合は、開業医が患者

受け入れに協力いただけるよう、重度の場合は三重医大などへの三次医療対応をしている。

「希望クラブ」高田 稔嗣

Q 暮らしを支援するという視点から高齢者が安心して自宅で医療・介護が受けられるよう、保健・医療・介護・福祉のネットワークを形成し、医療と介護が連携した地域ケア体制の整備が検討されている。介護予防、かかりつけ医機能の充実も重要だ。来年度スタートに向けた検討内容を問う。

A 暮らしを支援するという視点から高齢者が安心して自宅で医療・介護が受けられるよう、保健・医療・介護・福祉のネットワークを形成し、医療と介護が連携した地域ケア体制の整備が検討されている。介護予防、かかりつけ医機能の充実も重要だ。来年度スタートに向けた検討内容を問う。

「希望クラブ」高田 稔嗣

Q 暮らしを支援するという視点から高齢者が安心して自宅で医療・介護が受けられるよう、保健・医療・介護・福祉のネットワークを形成し、医療と介護が連携した地域ケア体制の整備が検討されている。介護予防、かかりつけ医機能の充実も重要だ。来年度スタートに向けた検討内容を問う。

A 暮らしを支援するという視点から高齢者が安心して自宅で医療・介護が受けられるよう、保健・医療・介護・福祉のネットワークを形成し、医療と介護が連携した地域ケア体制の整備が検討されている。介護予防、かかりつけ医機能の充実も重要だ。来年度スタートに向けた検討内容を問う。

A 平成21年度より、関係機
関で構成する検討委員会
を立ち上げた。地域の医療機関を
中心に、入院から在宅までの組織
的な医療サービスの提供体制を整
備し、介護・福祉との情報共有で
総合的な支援体制を構築する。家
族も含め支えていくため「在宅医
療支援センター(仮称)」の設置
も検討中だ。

日本共産党 橋本 マサ子
市費で支援を

Q 「介護の大変さを社会みん
なで分かち合おう」と介
護保険制度がスタートした。しか
し、介護認定とサービス内容の問
題点、事業所やそこで働く人達の
環境維持などの面で問題が山積し
ている。見直しに向けての実態把
握と国への要請が必要だ。特に、
地域密着型のサービスを提供して
いる小規模多機能型居宅介護施設
への市独自の支援が求められてい
る。どのように考えているか。

A 保険料の見直し、負担軽
減や基盤整備の充実など
国に要望している。小規模多機能
型介護施設の運営は厳しいが、基
本的に介護報酬で行うものだ。市
単独補助は一般論として必要性が
あれば、市の施策として支援する。

焼却炉の休止はなぜ

答弁 初期不良と不慣れ

Q ごみ減量の強化策として
家庭ごみの有料化が始め
られた。減量が進んだら見直しを
行うはずだったがどうか。分別に
よる減量が進んだらごみ質が良く

なるので、なんでも燃やせるガス
化溶解炉でなくシンプルな炉にす
べきと反対してきた。導入したガ
ス化溶解炉は、平成21年2月に本
格稼働してから故障などで運転休
止が続いているが、なぜか。90日
の連続運転は可能か。

A 家庭ごみ有料化の見直し
は、25年度を目途に検討
する。焼却炉の運転休止の原因は、
機械の初期不良・運転の不慣れ、
ごみ質の問題だ。メーカーと話し
合い連続運転に向けた。



ガス化溶解炉

「自由クラブ」松崎 勉

農業集落排水事業

答弁 平成28年度完成で

Q 22年度より、比奈知地区
について着工の予定をし
ているが、今後の計画はどうか。

A 22年度には調査費を計上
し、事前調査を実施する。
23年度には詳しい工事内容を決
め、住民に対しての説明会を開催。
28年度完成を目指す。

近大高専について

答弁 問題ないと考える

Q 近大高専の負債問題は。
市内の3高校に対する影
響は、定員数の確保は、非常に心
配である。

A 名張へ来れば立地条件が
良くなり、近畿地方より
学生が集まる。3高校に対しての
影響は少ない。負債を抱えたまま
の独立法人化はない。

「清風クラブ」山下 松一
市政の重要課題

Q 施政方針が示されたが、過
去8年間を振り返り、残
された重要課題として、二次救急
医療体制と斎場用地問題がある。
どのように解決するのうか。

A 二次救急医療は、伊賀3
病院が輪番制で行って
いるが、7月から上野総合市民病院
の医師が減ることになり、伊賀市
・名張市・三重県・三重大学医学部
を含め現在協議中である。しばら
くの猶予を願いたい。斎場用地問
題は、現在司法の場での判断が委
ねられているが、7月14日に判断が示
されるので、その結果を見て対処
し、早期の解決を図る。

名張川河川改修

答弁 早急に対応したい

Q 名張川の河川改修が青蓮
寺ダム関連事業として取
り組まれてから、はや30年が経過
するが、高岩井堰付近の改修がで
きていない。国土交通省と、どの
ような交渉をしているのうか。

A 高岩井堰付近の河川改修
は、現在取水している
築瀬水路が慣行水利権で、毎秒
0.985トン取水しているが、
改修には法定水利権に移行しなく
てはならず、その交渉自体中断し
たままとなっている。今後国交省
とも交渉し、早い時期に改修を促
進したい。



高岩井堰

その他の質問

三原 淳子

「生ごみ資源化の試行」

Q 生ごみ分別回収と堆肥化
の試行はどのように行
い、生ごみ資源化を含むバイオマ
スタウン構想は、どのように進め
るのうか。試行が気温の低い時期に
行われるが、市民にとって生ごみ
分別回収は夏の暑い時期が大変で
あり、実態の把握にならない。

A モデル地域を団地と農村
部で募集し、10月から3
カ月間行う。直営で回収し、週に
2回ある可燃ごみの日を1回、生
ごみの日とする。市内の民間業者
に委託し、草木・下水道汚泥と併
せて廃棄物の資源化を図る。

蒲崎 陽介

「スクールバス検討は」

Q 百合が丘や梅が丘の中学
生は、自転車通学だ。事
故の報告はあるのうか。市長は選挙
の際、スクールバスの導入の要望
は受けたか。今後の名張市のスク
ールバス導入の方向性・必要性
は、地域の声を聞くべきだ。

A 自転車通学の事故報告
は、教育委員会にはな
い。バスの要望は、直接伺った事
はない。スクールバスについて
は、考え方はさまざま。三重県
の方向性を鑑み、適正規模適正配
置の中で総合的に考えるが、あま
り便利さにかまけてはいけない。

細矢 一宏

「放課後児童対策は」

Q 放課後児童クラブの施設
不足が問題だ。放課後児
童対策施設整備について、本年度
の予定および受け入れ開始時期を
問う。保育所ニーズから、連続す
る放課後児童対策の必要状況は
予測できる。不足してからはな
く、年次計画的な整備が必要だ。



放課後児童クラブ

梶田 淑子

「法律で議決が必要」

Q 近大高専への財産の無償
譲渡は、問題あり。開発
事業者から提供を受けた土地につ
いて、議会の議決を得て地域に無
償譲渡してきた。平成17年度に条
例を改定し、議決なしに譲渡でき
るとした。新たに公共的団体を加
えて、普通財産のうち12カ所の集
会所用地に限定している。皇學館
大学跡の譲渡は、議決が必要。国
や県に補助金申請も出していない予
算9000万円を認めさせ、協定
書をつぶすのうか。

A 議決の必要はない。この
予算が通れば協定書を締
結する。



可決した議案

- 報告第1号 専決処分した事件(名張市市税条例の一部を改正する条例)の承認について
- 報告第2号 専決処分した事件(名張市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)の承認について
- 議案第49号 名張市職員の修学部分休業に関する条例の制定について
- 議案第50号 名張市先端産業立地促進条例の制定について
- 議案第51号 名張市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第52号 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第53号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第54号 名張市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第55号 名張市市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第56号 名張市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第57号 平成22年度名張市一般会計補正予算(第1号)について
- 議案第58号 平成22年度名張市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第59号 平成22年度名張市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第60号 名張市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第61号 名張小学校校舎耐震補強及び改修工事(建築第1工区)請負契約の締結について
- 議案第62号 名張小学校校舎耐震補強及び改修工事(建築第2工区)請負契約の締結について
- 議案第63号 名張中学校校舎耐震補強及び改修工事(建築)請負契約の締結について
- 議案第64号 赤目南部地区汚水処理施設建設工事(その3)請負契約の締結について
- 議員提出議案第5号 名張市議会議員の議員報酬の特例に関する条例を廃止する条例の制定について

請願について

- 請願第7号 「小規模特認校制度」の存続を求める請願→採択
- 請願第8号 皇學館大学跡地の近大高専への無償譲渡に反対する請願→不採択
- 請願第9号 備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める請願→不採択

編集後記



「なばり市議会だより」の編集を行ってきた議会広報特別委員会
(左から)細矢委員、森脇副委員長、福田委員長、川合委員、田合委員、三原委員

福田 博行 委員長

市議会だより編集の仕事は、平素の議会活動とことなり、神経を使う。委員の皆様の熱心さにささえられ、委員長としてやりがいがあった。

森脇 和徳 副委員長

市民のみなさまに、わかりやすく議会の動きをお伝えできるよう努めてまいりました。4年間ありがとうございました。

川合 滋 委員

編集作業を通し、各議員の考え方、市の方向性を再確認出来ました。多くの市民に正しく理解されることをのぞみます。

田合 豪 委員

行政用語から、わかりやすい言葉で。4年間ありがとうございました。

三原 淳子 委員

市議会だよりの編集をするにあたり、市民のみなさんに議会の様子をわかりやすくお伝えることで、議会を振り返り、勉強にもなりました。

細矢 一宏 委員

正確でわかりやすい紙面に努めてまいりました。より透明性の高い議会を目指します。

表決が分かれた案件

議員名 議案番号など	浦 崎	森 脇	細 矢	三 原	高 田	田 合	吉 佳	石 井	永 岡	川 合	福 田	中 川	松 崎	梶 田	榎 本	橋 本 隆	橋 本 マ	柳 生	山 下
議案第57号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○
議員提出議案第6号	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	×	×
請願第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○
請願第8号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×
請願第9号	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×

議長 藤島幸子は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員

インターネットで会議録を見ることができます

名張市議会、名張市議会事務局(市役所ホームページ内)のホームページからアクセスできます。

http://www.city.nabari.lg.jp/gikai/

おことわり

議員のお祝い金などの寄付行為につきましては、公職選挙法により禁止されています。皆さまのご理解をお願いします。

ご意見・ご要望をお待ちしています

議会広報特別委員会(議会事務局 ☎ 63-7835)



議会の日程(予定)

※日程を変更する場合があります。

開会時間は午前10時からです。ぜひ、傍聴にお越しください。

一般質問はケーブルテレビで放映されます。

9月22日(日) 開会	5日(日) 決算特別委員会(一般・特別会計)
28日(日) 一般質問	6日(日) 決算特別委員会(企業会計)
29日(日) 一般質問	7日(日) 総務企画委員会
30日(日) 一般質問	8日(日) 教育民生委員会
10月 1日(金) 補正予算	12日(日) 産業建設委員会
4日(日) 決算	15日(日) 採決